

# ハートフル通信

尾ノ上小学校  
人権教育便り  
2021. 12. 24  
発行：人権教育部

## 「誰か」のことじゃない。

この言葉は、法務省の人権擁護機関が定めた人権週間のテーマです。  
☆法務省の人権擁護機関では、1949年(昭和24年)から毎年、人権デーである12月10日(世界人権宣言が採択された日)を最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定めています。

現在においても、新型コロナウイルス感染症に対する偏見や差別が生じており、それだけでなくいじめ、インターネット上における誹謗中傷、ハンセン病元患者や家族に対する偏見など様々な人権問題が存在しています。

私たちにできることは何か。正しい知識を学び、身の回りの様々な人権問題に対して自分事として考えることを大切にするのではないのでしょうか。

尾ノ上小学校においては、「安心して楽しく過ごせる学校に」を人権テーマと掲げて、人権教育に努めています。また、11月15日～11月19日に「尾ノ上小人権週間」を設定しました。各学級において人権学習を行い、学年集会で学び合いを行いました。また、全校では6年生の平和学習の発表を聞き「平和」について考えました。様々な学びを通して子どもたちも人権感覚を磨き高めています。安心して楽しく過ごすのは、「誰か」ではなく「わたし」たち一人一人です。



☆人権の掲示板では、子どもたちの学びや、今年度本校で取り組んでいる「人権の花」運動の様子を季節に応じて掲示しています。

各学年の人権学習・人権集会の取り組みを紹介します。

### ( 1 ) 年 道徳「にんじんばたけで」を学習して

1年生は道徳の時間に「にんじんばたけで」を学習しました。「畑に入るな」の看板が立っているにんじん畑の前でにんじんの食べかすを見つけたうさぎたち。「畑に入ったらいけない」「いや、みんなもやってるから」という、うさぎたちの心の迷いから、してはいけないことと分かりながら、「みんながやっているから自分もしてよい」と考えてしまうことの間違いに気づきました。学習を通して、善悪を判断し良いことをすることの大切さを学びました。

#### 子どもたちの声

- ☆弟のおもちゃを黙って使おうと思ったけど、ちゃんと借りてから使うことができた。
- ☆約束を守らないのはダメだから、しないようにします。
- ☆静かに待っていない友達に声をかけることができた。
- ☆これから、誰かが廊下を走っていても走らないようにします。

集会では、「いけないことって分かってるけど、他にもやってる人がいるから自分も…。」という経験がないか振り返りながら、自分の中の弱い心を見つめました。「ダメなことはダメ!」と、強い意志をもって行動できることの大切さを実感した集会となりました。



### ( 2 ) 年「いいところを見つめよう」の学習を通して

2年生では、道徳「いいところみつけた」の学習を行いました。自分や友だちのいいところについて考えていくと、うれしい気持ちになることや自分のいいところを知ってこれからにつなげていこうとする気持ちを学びました。そこで、学級で友だちのいいところをカードに書いておくり合い、自分のいいところを見つめる学習を行いました。友だちからメッセージをもらったり、自分のいいところを紹介したりする中で、一人一人に違ったいいところがあること、いいところをこれからも自信を持って生かしていくことを学ぶことができました。

- ☆自分のいいところをもっとみんなに知ってもらいたいと思いました。これからもみんなのいいところをみていきたいと思いました。これからもお友だちとなかよくしたいです。
- ☆わたしは、お友だちのいいところをさがすのががんばりました。お友だちのいいところや自分のいいところっていっぱいあるんだと気づきました。これからもお友だちにやさしくしたいです。これからもわる口やいじめをすることはぜったいにしたらだめだと思いました。
- ☆自分のいいところをお友だちから見つけてもらうと、自分のいいところは知っていても、まだちがういいところがあってうれしかったです。みんなのはっぴょうを聞いて、お友だちのいいところもきづいてよかったなと思いました。

### ( 3 ) 年 道徳 「バスの中で」・学活「うれくなる言葉」を学習して

3 年生は、道徳の時間に「バスの中で」という学習をしました。相手のことを思い、親切にできたときの気持ちを考え、進んで親切な行いをすることが自分も親切にされた相手もお互いに気持ちよくなる行為であることに気づくことができました。ほかにも学活の時間には、「うれくなる言葉」という学習を行いました。うれくなる言葉を相手にどう伝えれば、さらにうれくなってもらえるのかや、どんな言葉がうれくなるのかを話し合ったり、実演したりしながら考えていきました。学年の人権集会では、学習して感じたこと、これからの自分について発表してもらいました。

#### 「バスの中で」の発表抜粋

☆勉強でわかったことを生かして、これから困っている人がいたら勇気を持って声をかけられ自分になりたいと思いました。そして親切にされた人が別の人に親切にしていけることが続けば世界中が優しさであふれるのではないかなと思いました。

☆電車に乗っているときに、席を譲っている人を見かけました。席を譲った人も譲られた人も笑顔になっていました。

#### 「うれくなる言葉」の発表抜粋

☆この勉強から、頭を打ってしまったときに、友だちがやさしく「大丈夫?」と言ってくれたことを思い出しました。すごくうれしかったから自分も真似したいなと思いました。

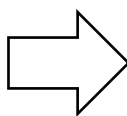
☆うれしい言葉を言うと言われた人が笑顔になり、それがみんなにも広がっていくと思いました。

友だちの発表を聞いて、改めて親切にする良さや、うれくなる言葉について考えることができました。人権集会を通じて、親切な行動が増えていくといいなと思います。

### ( 4 ) 年 「どんな言い方をすればよかったのかな」を学習して

4 年生では、言葉が足りないことで相手に気持ちが正しく伝わらない、という日常の一コマについて、4 年生全体で授業を行い、考えました。お話の中で、女の子が給食中、「へらして。」「いいよ。」という短い言葉でやり取りを済ませた結果、自分が思っていた以上に減らされて、相手を責めてしまいました。いったいどんな言い方をすればよかったのか、みんなで考えるとたくさんのお考えが出されました。

- ・「少し多いからへらして」と、量を丁寧に伝える
- ・「〇〇くらい」と、量について具体的に伝える
- ・ついだ量がそれでいいのか、お互いに確認する
- ・言い方を、尋ねるようにやさしく言う。



- ☆詳しく丁寧に
- ☆相手に伝わる言葉の工夫
- ☆理由なども伝える

自分の思いを丁寧に伝えることで、相手も自分も嫌な思いをせずに気持ちよく過ごすことができます。わかっているけどできていなかった自分に気づく機会にもなったようです。授業の最後には、「気づいていないうちに友達を傷つけていたかもしれない」「やさしさや思いやりをもって伝えたい」「言葉を丁寧に使いたい」などの感想が聞かれました。

### ( 5 ) 年「 よっ、水俣病 」の学習を通して

総合的な学習の時間に、1学期から環境問題の一環として水俣病について学習をしてきました。水俣病が起きた原因や症状など調べたり、語り部さんからお話を聞いたりしました。今回は、「よっ、水俣病」という実際に起きたお話を聞き、各クラスから学年全体で学びを深めました。

～子どもの声～

☆主人公の4年生の男の子の気持ちになって考え、もしそれが自分だったら?と考えることができました。

☆水俣から来て水俣病にかかってもいけないのに、鼻をつまむなどは本当にしてはいけないなど思いました。これからも、差別をしないことや自分がされて嫌なことはやらないようにしたいと思います。

☆やっぱり差別や悪口を言うことはいけないことだなど思いました。そして、病気のことだけで人を判断してしまうのは、だめだと思いました。

差別やいじめをなくすためには、差別などをする側にならないことや噂話などを信じないという意見が出ました。また、そのような行動を起こすためにどんな気持ちが必要かと聞くと、思いやりの気持ちや相手の気持ちを考えた行動をすることだと改めて確認することができました。

### ( 6 ) 年「 平和な未来をめざして 」の学習を通して

6年生は、総合的な学習の時間、国語を中心に、平和について学習してきました。修学旅行では、原爆資料館や平和祈念公園で、実際に原爆の被害の様子を見たり、被爆者である羽田麗子さんの話を聞いたりして、戦争の愚かさや悲しさを知ることができました。また、今当たり前のようにある生活がいかにありがたく、尊いものであるかを実感し、平和についての思いを強くしていました。これらのことを、個人で「平和新聞」としてまとめ、さらに「人権集会」として、グループに分かれて全校の各学級に赴き、学んだことや伝えたいことを報告しました。

☆被爆者のことを調べていると、必ず「差別」という言葉が出てきたので、そこについてももっと深く考えていきたいと思いました。

☆この学習をして、世界に目を向けるきっかけにもなったのでよかった。

☆この発表をして終わりではなく、平和のためにできることをもっと考えていきたいと思った。

☆他の人のことをよく知り、互いに認め合っていくことが大切。苦手なことがあっても、それをはやし立てるのではなく、やり方を教えたり、励ましたりして一緒に目線や気持ちになって考えることが、「平和」につながると思った。

☆1年生の感想から、平和の大切さが伝わったんだなど分かってうれしかった。

☆羽田さんの話から、暴力でなく、話し合いで解決していきたいと思いました。

